

県民モニター「第4回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

- (1)調査テーマ：「ユニバーサル社会づくりの推進について」
- (2)調査対象者：県民モニター1,130人（12月16日までの登録者）
- (3)調査期間：平成18年12月16日(土)～12月27日(水)[12日間]
- (4)調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5)回答者数：522人（回答率46.2%）
- (6)自由記入欄：9箇所設定（回答者の41.8%がいずれかに記載）

参考 - 対象者及び回答者属性

	対象者	回答者	回答率
総数	1,130	522	46.2%
(性別)			
男性	642	328	51.1%
女性	488	194	39.8%

2 調査結果の概観

- ・ユニバーサル社会づくりを進めるために力を入れて対応すべき社会的課題では、約5割が「高齢化への対応」と回答しており、次いで「少子化への対応」が2割超となっている。また、推進する主体として重要であるとの回答は、「行政」も「民間」も、ともに5割前後と拮抗しており、両方でユニバーサル社会づくりを進めていくべきとの意向がうかがえる。
- ・だれもが参加できる社会づくりでは、障害のある方と接する機会が「よくある」との回答及び障害のある方の思いや取り巻く環境を「どちらも理解している」との回答は、ともに2割台であるが、約4割が「様々な立場の人たちが交流できる機会を増やす」ことに県が取り組むべきとしており、様々な立場の人の社会参加を互いに理解しようとの積極的な姿勢がうかがえる。
- ・県が掲げる5つの基本目標の中では、「安心して住まい、安全、快適に移動し、活動できる社会」の実現が特に重要との回答が4割台半ばを超える。また、だれもが安全・快適に移動するためには、「高齢者」又は「障害のある方」に対する配慮が必要との回答がともに6割台半ばを超えており、ユニバーサル社会づくりに向けて、高齢者及び障害のある方に配慮したまちづくりへの取組が期待されていることがうかがえる。

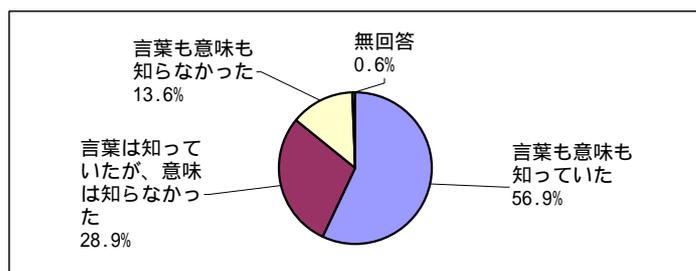
アンケート結果は、「ユニバーサル社会づくり」を推進するため、今後の具体的な施策・事業を検討する中で参考とする。

3 調査結果

(1) ユニバーサル社会づくりへの理解・認識について

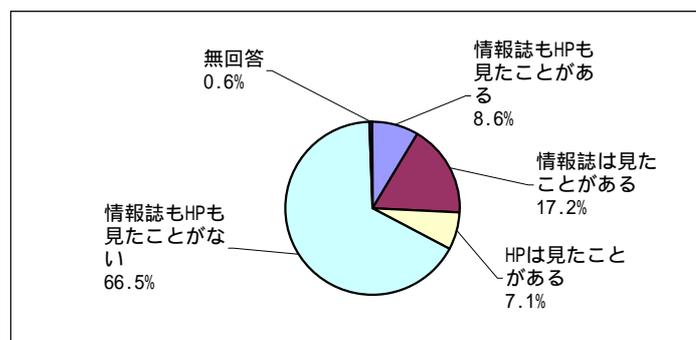
Q1 「ユニバーサル社会」という言葉を知っていたか(1つ選択)

- (1) 言葉も意味も知っていた 56.9%
- (2) 言葉は知っていたが、意味は知らなかった 28.9%
- (3) 言葉も意味も知らなかった 13.6%
- 無回答 0.6%



Q2 情報誌「ユニバーサルひょうご」やホームページ「ユニバーサルひょうご」を見たことがあるか(1つ選択)

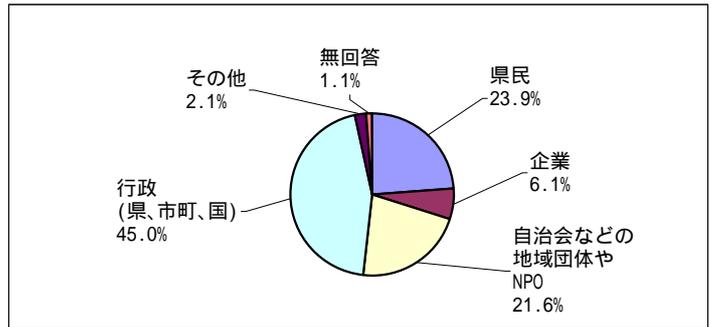
- (1) 情報誌もHPも見たことがある 8.6%
- (2) 情報誌は見たことがあるが、HPは見たことがない 17.2%
- (3) HPは見たことがあるが、情報誌は見たことがない 7.1%
- (4) 情報誌もHPも見たことがない 66.5%
- 無回答 0.6%



(2) ユニバーサル社会づくりの進め方について

Q1 ユニバーサル社会づくりを進める上で最も重要な主体(1つ選択)

(1) 県民	23.9%
(2) 企業	6.1%
(3) 自治会などの地域団体やNPO	21.6%
(4) 行政(県、市町、国)	45.0%
(5) その他	2.1%
無回答	1.1%



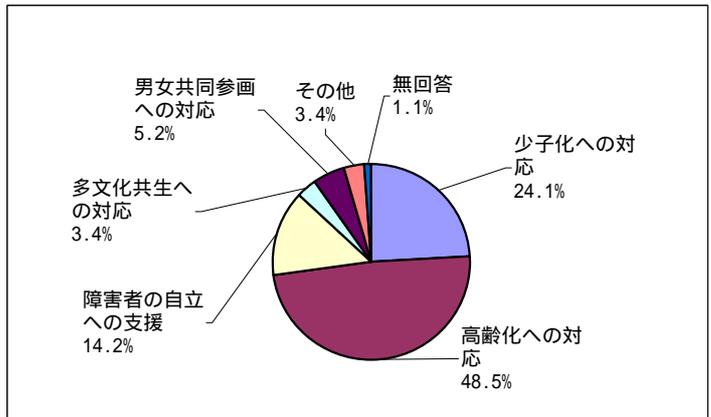
「その他」の具体的な内容

- ・当面の間は、行政が主体となるべきである
- ・各主体全てが重要である(どれか一つが欠けてはいけない)

6件
3件

Q2 ユニバーサル社会づくりを進める上で特に力を入れて対応すべき社会的課題(1つ選択)

(1) 少子化への対応	24.1%
(2) 高齢化への対応	48.5%
(3) 障害者の自立への対応	14.2%
(4) 多文化共生への対応	3.4%
(5) 男女共同参画への対応	5.2%
(6) その他	3.4%
無回答	1.1%



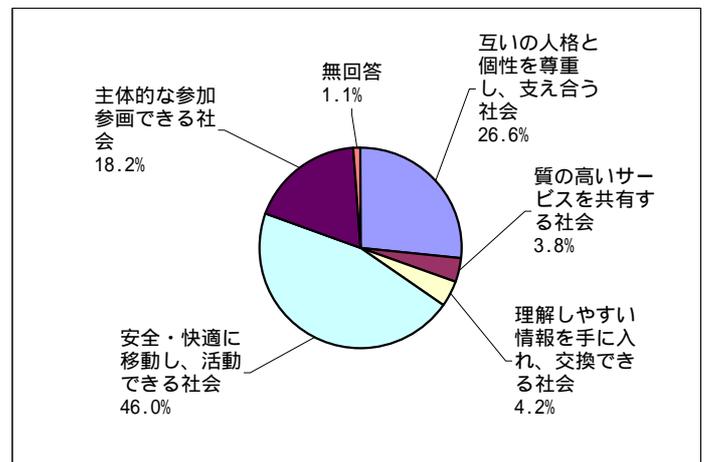
「その他」の具体的な内容

- ・全て重要、バランスよく対応すべき(一つを選ばない)
- ・子供への教育面での対応

9件
2件

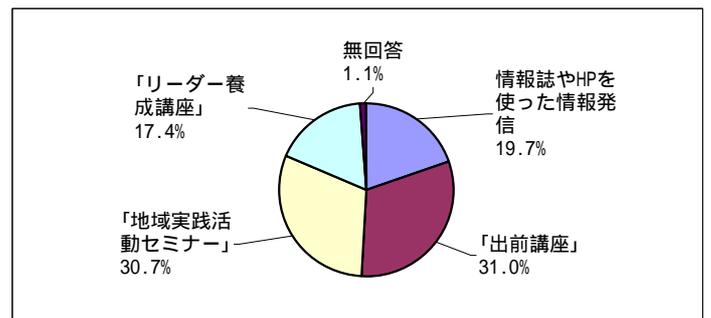
Q3 県が掲げる5つの基本目標の中で、特に重要と思うもの(1つ選択)

(1) 互いの人格と個性を尊重し、支え合う社会	26.6%
(2) 容易にものを利用し、質の高いサービスを共有する社会	3.8%
(3) 多様な方法で、理解しやすい情報を手に入れ、交換できる社会	4.2%
(4) 安心して住まい、自宅から街なかまで安全・快適に移動し、活動できる社会	46.0%
(5) 持てる力を発揮して働くなど、主体的な参加参画ができる社会	18.2%
無回答	1.1%



Q4 「ユニバーサル社会づくり」への理解を深めていただくために最も効果があると思う県の事業(1つ選択)

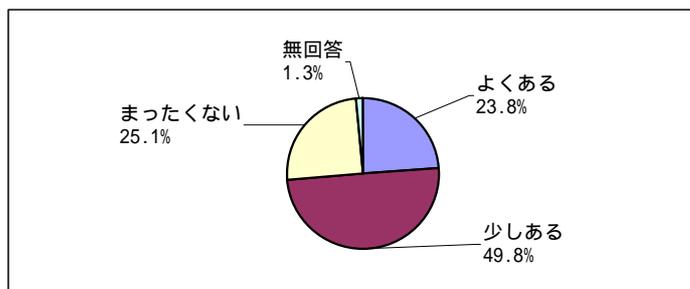
(1) 情報誌やHPを使った情報の発信	19.7%
(2) 「出前講座」	31.0%
(3) 「地域実践活動セミナー」	30.7%
(4) 「リーダー養成講座」	17.4%
無回答	1.1%



(3) だれもが参加できる社会づくりに向けて

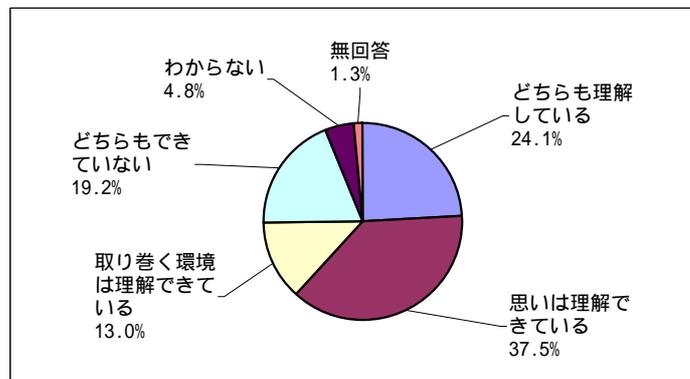
Q1 日常的に障害のある方と接する機会の有無(1つ選択)

(1) よくある	23.8%
(2) 少しある	49.8%
(3) まったくない	25.1%
無回答	1.3%



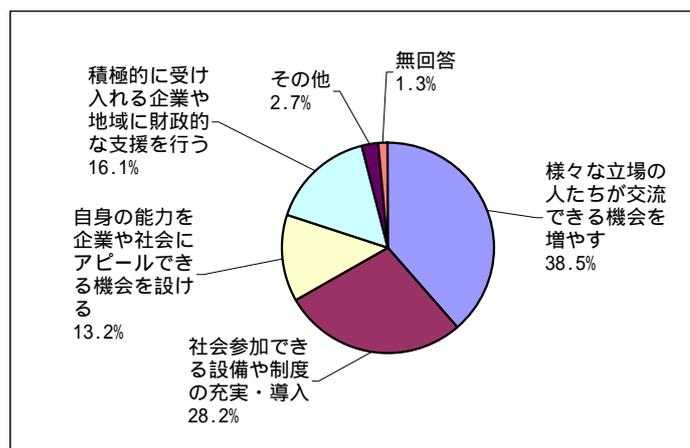
Q2 障害のある方の思いや取り巻く環境を理解できていると思うか(1つ選択)

(1) どちらも理解している	24.1%
(2) 思いは理解できているが、取り巻く環境は理解できていない	37.5%
(3) 思いは理解できていないが、取り巻く環境は理解できている	13.0%
(4) どちらもできていない	19.2%
(5) わからない	4.8%
無回答	1.3%



Q3 だれもが容易に社会参加できるようにするために、県が取り組むべきこと(1つ選択)

(1) 様々な立場の人たちが交流できる機会を増やす	38.5%
(2) 社会参加できる設備や制度の充実・導入を進める	28.2%
(3) 自身の能力を企業や社会にアピールできる機会を設ける	13.2%
(4) 積極的に受け入れる企業や地域に財政的な支援を行う	16.1%
(5) その他	2.7%
無回答	1.3%



「その他」の具体的な内容

- ・県民や企業などの社会的理解を深めるための広報啓発活動等 6件
- ・今後増える高齢者が参加しやすい、あるいは、まず実践してみることができる仕組みづくり(ソフト・ハード) 4件

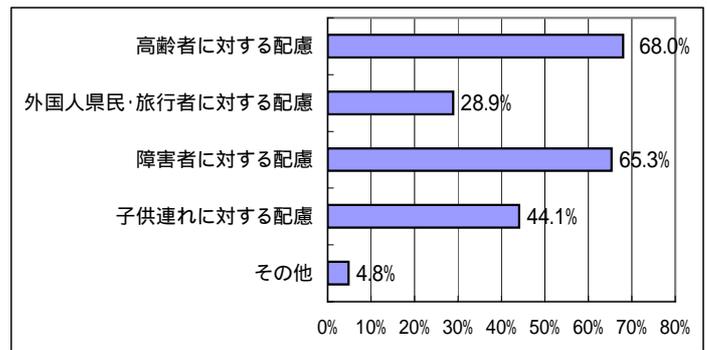
(4) 施設のバリアフリー情報の提供について

Q1 だれもが安全・快適にまちを移動するために必要な配慮(いくつでも選択)

- (1) 高齢者に対する配慮 68.0%
- (2) 外国人県民・旅行者に対する配慮 28.9%
- (3) 障害者に対する配慮 65.3%
- (4) 子供連れに対する配慮 44.1%
- (5) その他 4.8%

「その他」の具体的な内容

- ・若者への教育など、人の意識に関する配慮
- ・子供に対する配慮



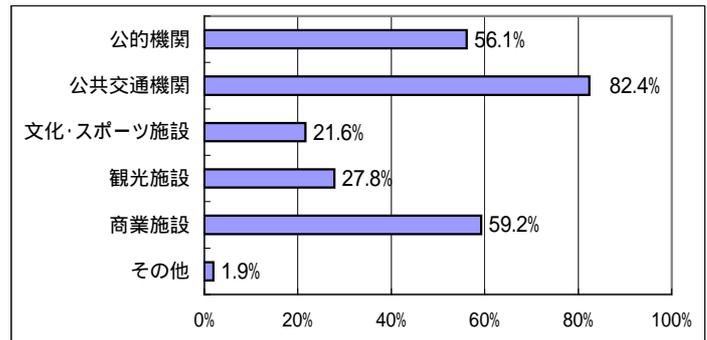
5件
2件

Q2 どのような施設等についてバリアフリー情報の提供があればよいか(3つまで選択)

- (1) 公的機関 56.1%
- (2) 公共交通機関 82.4%
- (3) 文化・スポーツ施設 21.6%
- (4) 観光施設 27.8%
- (5) 商業施設 59.2%
- (6) その他 1.9%

「その他」の具体的な内容

- ・教育機関
- ・公民館、コミュニティセンター



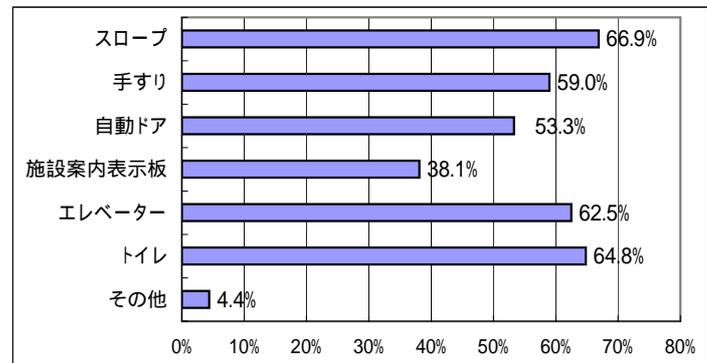
2件
2件

Q3 これまでに訪れた施設で「便利だ」と感じたバリアフリー設備(いくつでも選択)

- (1) スロープ 66.9%
- (2) 手すり 59.0%
- (3) 自動ドア 53.3%
- (4) 施設案内表示板 38.1%
- (5) エレベーター 62.5%
- (6) トイレ(車いす利用者等対応) 64.8%
- (7) その他 4.4%

「その他」の具体的な内容

- ・授乳室など、乳幼児に対応した設備
- ・段差のない道路やバス停などの公共交通機関に関する設備



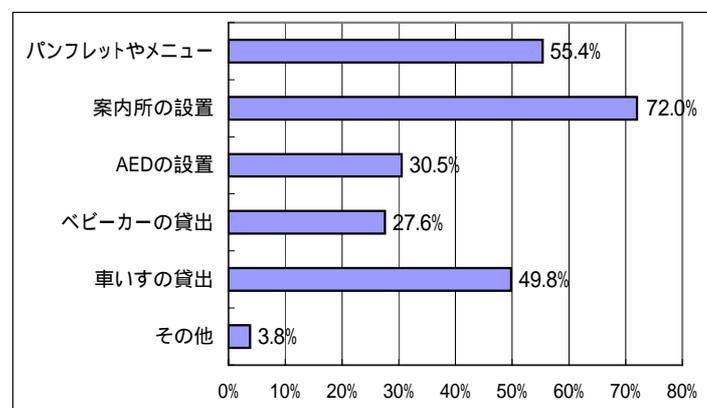
4件
4件

Q4 これまでに訪れた施設で「誰もが使いやすい施設にするために必要」と感じたサービス(いくつでも選択)

- (1) わかりやすいパンフレットやメニュー(大きな文字など) 55.4%
- (2) 案内所の設置 72.0%
- (3) AEDの設置 30.5%
- (4) ベビーカーの貸出 27.6%
- (5) 車いすの貸出 49.8%
- (6) その他 3.8%

「その他」の具体的な内容

- ・施設の案内表示に関するサービス
- ・駐車場に関するサービス



4件
4件

Q 5 バリアフリー化の状況などを調査し、情報提供する必要があると思われる施設又は設備・サービス(自由記入)

- 1 回答者の34.9%にあたる182人が記載
- 2 主な記載内容は以下のとおり

・ 鉄道の駅のエスカレーターやトイレに関するもの	58件
・ 歩道の段差や障害物等に関するもの	36件
・ 飲食店や店舗などに関するもの	25件
・ 娯楽施設や商業施設に関するもの	23件

Q 6 施設のバリアフリー情報には、他にどのような情報を掲載する必要があるか (2つまで選択)

(1) 所在地等に関する情報	77.4%
(2) 利用に関する情報	69.0%
(3) 催し物などに関する情報	16.3%
(4) ホームページへのリンク	10.3%
(5) その他	1.0%

「その他」の具体的な内容

・ FAX番号	1件
・ 相談できる人や場所	1件

